



ASIAN-PACIFIC
CONGRESS on
EVANGELISM
SYDNEY 2027

ニュースリリース

報道関係者各位

発行日：2025 年 10 月 15 日

問い合わせ先：media@billygraham.org

アジア太平洋地域の伝道のための大規模会議、2027 年 8 月に開催決定

2027 年 8 月 24 日～26 日、「アジア太平洋伝道会議」、オーストラリア・シドニーにて

【シドニー 2025 年 10 月 16 日】

ビリー・グラハム伝道協会（Billy Graham Evangelistic Association、以下 BGEA）は「アジア太平洋伝道会議（Asian-Pacific Congress on Evangelism）」を、2027 年 8 月 24 日から 26 日までオーストラリア・シドニーで開催します。

本会議には、オーストラリアからアフガニスタン、日本からジャカルタに至るまで、アジア太平洋 50 以上の国と地域から約 2,500 名の牧師、伝道者、教会・宣教リーダーが参加する見込み。3 日間にわたり、10 か国語以上で、励ましと挑戦を受け、未だキリストを知らない数十億の人々に大胆に福音を伝えるための備えを新たにします。

チャーチオブクライストニュージーランド日本大阪教会の主任牧師であり、ジャパンミッションセンターの代表理事を務める高田義三牧師は会議へ向けての期待を次のように語っています。「今こそ、覆いを取り除かれる時です。日本には 1 億 2500 万人の人々と多くの偶像があります。真の神と永遠のいのちへの道、すなわち福音の光は、何世紀にもわたって覆われてきました（II コリント 4:3-4）。しかし、ヨハネ 14 章 6 節でイエス様は、『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません』と言われました。神のこと

ばが聖霊の力によって宣べ伝えられるとき、覆いは取り除かれ、神の栄光があらわされます。この真理が神の祝福の雨のように日本とアジア太平洋に降り注ぐことを願い、期待をもって備えます。」

BGEA 会長であり、大会の主催者であるフランクリン・グラハム師は次のように述べています。
「これはアジア太平洋の教会にとって決定的な瞬間です。私たちは、次世代のクリスチャンの心に聖なる火をともらいたい。彼らが希望の福音のともしびを、密林の島々から大都市、山間の孤立集落に至るまで運んでいけるように。イエス・キリストの福音を恐れずに地の果てまで伝えるよう、共に励まし合いたいです。」

ベルリンから続く伝道会議の歩み

BGEA は 1966 年、ドイツ・ベルリンで第 1 回世界伝道会議を開催しました。その後、1983 年、1986 年、2000 年にアムステルダムで伝道会議を主催してきました。
2025 年 5 月にはドイツ・ベルリンで「欧州伝道会議」が開催され、55 か国から 1,000 名を超えるリーダーが集い、福音を大胆に語る使命を新たにしました。
参加者の多くは「早く自分の地域に戻り、十字架の希望を伝えたい」と語り、帰国後すぐに祈りと宣教に取り組んでいます。

イタリアからの参加者、ダニー・パスクワレ牧師は、「会議に参加して、祈り、そして福音への応答を促す招きの重要性に気づきました。そして、夏の青年キャンプでは、キャンプ参加者の人生が福音によって根本的に変えられるようにと祈り、福音を信じる決心を促しました」と語ります。そして、キャンプ中に 40 人の青年がイエス・キリストに人生をささげたのです。

アジア太平洋地域に福音の炎を

アジア太平洋地域に住む約 40 億人のうち、クリスチャンは 1 割にも満たないと言われています。

ベルリン会議に参加した、聖公会シドニー大主教カニシユカ・ラフェル師は、こう語ります。
「ベルリンで私たちは、福音を大胆かつ明確に宣べ伝えるという共通のビジョンに心を燃やされました。今度はアジア、オセアニア、オーストラシアの伝道者たちがこの『南の地』に集い、キリストを知らせる、という一つの使命のために立ち上がります。この機会を無駄にしてはなりません。」

アジア太平洋伝道会議への参加は招待制で、今後数か月のうちに詳細が発表される予定です。今からこの大会のために祈りを始めてください。

大会開催に寄せて ～各国教会リーダーの声～

シンガポール | エドモンド・チャン師

(IDMC グローバルアライアンス(Global Alliance of Intentional Disciple-making Churches) 創設者／リーダーシップ・メンター)

「弟子訓練のない伝道は盲目であり、伝道のない弟子訓練は不具です。2027 年のアジア太平洋伝道会議を心から楽しみにしています。キリストに贖われた同労者として私たちは皆、それぞれの役割が与えられています。ある者は種を蒔き、ある者は水を注ぎ、ある者は刈り取る（1 コリント 3:5-9）。すべては神の栄光のために！」

フィリピン | エフライム・テンデロ師

(世界福音同盟 グローバル大使、ガリラヤ運動 事務総長)

「世界人口の大多数が住み、キリストをまだ知らない人々の最も多いこの地域で、クリスチャンを訓練し、福音宣教のために派遣することは急務です。今こそ、新しい世代のキリストの似姿に成長した収穫の働き手、伝道者や弟子づくりの働き人を起こし、アジア太平洋地域をキリストのために変革する時です。」

マレーシア | ダニエル・ホー師

(ダマンサラ・ウタマ・メソジスト教会 創設者／主任牧師)

「失われた魂を探し救うというキリストの使命こそ、私たちの最優先課題です。不安定で課題の多い現状の中、世界的に教会の成長が停滞し、多くが永遠の滅びへと向かっています。今こそ、教会が立ち上がり、イエス・キリストにある希望を語るべき時です。」

インド | ロバート・カンヴィル博士

(ビリー・グラハム伝道協会 伝道師)

「インドは西暦 52 年、イエス・キリストの弟子トマスによって初めて福音を聞きました。また、中国も 63 年にキリストの良き知らせを聞きました。それから約 2,000 年が経ちましたが、今日もなおアジアには福音を聞いたことのない何百万人もの人々がいます。だからこそ、私はシドニー会議を大きな期待とともに待ち望んでいます。本会議が、キリストの十字架で流された血というシンプルかつ力あるメッセージをアジア太平洋全域に宣べ伝え続けていく情熱を新たに燃え立たせる機会となるよう祈っています。」

カンボジア | ヘン・チェン師

(カンボジア福音主義連盟 会長)

「アジア太平洋伝道会議は、カンボジア、そして地域全体にとって非常に重要な時期に行われます。クリスチャンが言葉と行いの両面から福音を自分たちの地域社会にもたらすよう励まし、備えるための良い機会となるでしょう。伝道は、キリストにある新しいいのちの喜びが、家庭や日常生活

の人間関係の中に現れることから始まります。この会議は、福音を伝えることと弟子を育てることが切り離せない関係にあることを再確認し、すべてのクリスチャンが、新たな情熱と一致をもってイエスのメッセージを生きるよう呼びかけています。」

インドネシア | チャールズ・ジョナン師

（ベテル教会（Gereja Bethel） 職場宣教部門 代表）

「イエスはヨハネ 4 章 35 節でこう言われました。『あなたがたは、「まだ四か月あって、それから刈り入れだ」と言ってはいませんか。...目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。』 私たちは心をひとつにして集い、アジア太平洋における偉大な霊的収穫を共に刈り取りましょう。確かに収穫は多いのに、働き人が少ないのです。」

ニュージーランド | ロバート・シアキモトゥ博士

（オープン・エア・キャンペナーズ(Open Air Campaigners) 伝道師／ポリネシアン・ミニストリーズ(Polynesian Ministries) 共同創設者）

「アジア太平洋地域における伝道者と伝道の働きを再び認識する時は、とうに來ています。ニュージーランドを拠点に南太平洋全域で働く伝道師として、この会議が、伝道者そして教会が恐れずに福音を語り、より多くのクリスチャンが効果的に福音を分かち合う備えをするための励ましと動機づけとなることを信じています。」

韓国 | ビリー・キム博士

（韓国極東放送協会 会長／ビリー・グラハム 1973 年ソウル伝道大会 通訳者）

「今日、韓国、そしてアジア太平洋全域での伝道の必要は、かつてないほど切実です。世俗主義が広がる中で、霊的な渇きはますます深まっており、私たちは大胆さと憐れみをもって、そして、神の前にへりくだって福音を宣べ伝えるよう召されています。特に若い牧師たちに、信仰と期待をもって前を見つめてほしいと願います。この集いが、リバイバルと一致、そして、大宣教命令を果たす情熱を新たにするための強力な動機づけとなることを祈ります！」

香港 | エリック・トン師

（香港バプテスト連盟 会長）

「神は今、アジア太平洋全域で力強い働きを進めておられます。この伝道会議は、まさにこの時のための神からの応答です。この集いは単なるイベントではなく、クリスチャンがひとつとなり、信仰を新たにし、をイエス・キリストの御名を大胆に宣べ伝える者として次世代のリーダーを整えるための戦略的な機会です。リバイバルの新しい波が押し寄せています。この会議こそ、そのきっかけとなるでしょう。『見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている』（イザヤ 43 章 19 節）。」

モンゴル | ウグタフバヤル・トゴーボル師

(ブライト・シティ・クリスチャン・チャーチ 牧師)

「1990 年代初頭、モンゴルが開かれたとき、国内のクリスチャンはわずか 4 人しかいませんでした。しかし、福音が宣べ伝えられる中で、真の喜びと人生の価値、そして、神の愛がモンゴル全土に広がっていきました。次世代の中で福音への情熱が燃え始めています。この会議は、その火をさらに燃え上がらせ、モンゴルだけでなくアジア太平洋全域において伝道の情熱と熱意が燃え続けるための燃料となるでしょう。今こそ、共に集まり、主がアジア太平洋の収穫のために働き人を送ってくださるよう祈る時です。」

ベトナム | ホー・タン・コア師

(ベトナム福音同盟 会長)

「近年、ベトナムでは多くの都市で伝道集会を開く自由が与えられ、教会は福音を宣べ伝える力をつけてきました。この会議は、教会にとって大きな喜びです。アジア太平洋のすべてのクリスチャンが、イエス・キリストの福音を恥とせず語り、語ることを再確認する良い機会となるでしょう。」

タイ | ヴェラデッド・ジッサクダノント博士

(タイ伝道委員会及びタイ・プロテスタント教会協議会 議長)

「タイの教会は現在、神の愛の真理をもってタイ王国を満たすため、全国的な伝道計画を実施しています。その中で、BGEA がアジア太平洋伝道会議を開催し、タイだけでなくアジア太平洋全域において福音を伝える緊急性を強調してくださることを心から喜んでいきます。この大会は、アジアの教会が一致をもって、『全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい』（マルコ 16:15）という使命の一途さを表す、極めて重要な集いとなるでしょう。」

以上

取材・報道関係者の皆様へ

大会概要

- 名称：アジア太平洋伝道会議 (Asian-Pacific Congress on Evangelism)
- 日程：2027 年 8 月 24 日 (火) ～26 日 (木)
- 会場：インターナショナル・コンベンション・センター・シドニー (ICC Sydney)
14 Darling Drive, Sydney NSW 2000
- 主催：ビリー・グラハム伝道協会 (BGEA)

メディア関連情報

- プレスキット（写真・映像など）：Media.BillyGraham.org/Asian-Pacific-Congress-on-Evangelism
- ジャーナリスト登録・取材は無料（大会期間中の食事提供あり）
- 取材申し込み・問い合わせ：media@billygraham.org

BGEA のアジア太平洋における伝道のあゆみ

1950 年にビリー・グラハムによって設立されたビリー・グラハム伝道協会（BGEA）は、全世界でイエス・キリストの福音を伝える活動を展開している。

ビリー・グラハムはアジア太平洋地域に深い敬愛の念を抱き、35 回にわたる伝道大会において延べ 1,300 万人以上に福音を語った。

1973 年の韓国・ソウル大会には 300 万人以上が集まり、史上最大の伝道集会となった。1959 年のオーストラリア・シドニー大会では、約 6 万人がキリストに従う決心をした。

息子のフランクリン・グラハムも、過去 33 年間で 41 回にわたりアジア太平洋地域で説教しており、近年ではベトナムやラオスで何千人もの人々が福音に応答した。

2026 年にはカンボジア・シェムリアップ、2027 年にはベトナム・ハノイでの大会も予定されている。

また、フランクリンの息子ウィル・グラハムもこれまでに 30 回以上の伝道大会を同地域で開催し、2026 年には日本と韓国で福音を語る予定。

ビリー・グラハム福音伝道協会について

ビリー・グラハム福音伝道協会（Billy Graham Evangelistic Association／BGEA）は、1950 年にビリー・グラハムによって設立され、イエス・キリストの福音を全世界に伝える働きを続けている。米国ノースカロライナ州シャーロットに本部を置き、国内外にわたる様々な働きを統括。フランクリン・グラハムおよびウィル・グラハムによる大規模な福音伝道集会、ビリー・グラハム図書館、24 時間対応の「ビリー・グラハム 祈りのホットライン」、ノースカロライナ州アッシュビル郊外にあるビリー・グラハム訓練センター「ザ・コーブ」など多岐にわたる活動に加え、印刷物、テレビ、電話、ラジオ、インターネットを通して多くの人々に仕えている。

BGEA の緊急対応チーム、「ビリー・グラハム・ラピッド・レスポンス・チーム」は、危機対応訓練を受けたチャブレン（臨床牧会者）たちをアジア太平洋地域の国々にこれまで 40 回以上派遣し、被災者に心のケアと霊的支援を提供してきた。主な派遣先には、2011 年の東日本大震災で被災

した日本・仙台、2014 年の台風で被災したフィリピン・セブ島、2022 年にハロウィーン事故が起きた韓国・ソウルなどがあげられる。

また、BGEA のインターネット伝道プロジェクト「SearchforJesus.net」は、これまでに世界で 1 億人以上に福音を届けており、アジア太平洋地域でも毎年数十万人とつながり続けている。

詳細は BGEA の公式サイト billygraham.org をご覧ください。